

渡辺裕香子さん(弘前出身)「遠距離介護」出版

横浜市在住の渡辺裕香代後半の叔母が脳梗塞で子さん顔写真Ⅱが、故郷である弘前市に住む叔母の介護のため、弘前と横浜を往復し続けた4年



間を一冊の本にまとめた。タイトルは「遠距離介護 叔母を看取った私の場合」(百年書房)。

渡辺さんは同書の冒頭で「結婚する人や子を産む人が減り、今後はおじやお婆の介護に関わることを」と振り返り、同書に

横浜と4年間往復 故郷の叔母みとる

が増えてくるだろう。何かの参考にしていただければ」と呼び掛ける。

渡辺さんは1950年、弘前市生まれ。青山学院大卒。進学のため18歳で弘前を離れてからは東京で暮らし、結婚を機に神奈川県川崎市に移り、現在は横浜市に住んでいる。

「遠距離介護」は、弘前市に住み独身を通した叔母との思い出と、叔母の最期をみとるまでの介護の記録。渡辺さんは70

「遠距離介護」は175ページ、1500円＋税(送料込み)。購入希望は百年書房(電話03・6666・9594、FAX03・6666・9433)へ。(白取心平)

遠距離介護

本書は、地方に住んでいた独身の叔母の介護に関わった四年間の記録です。実際の介護は地で行われても、心に響く場面は多くに描かれます。私も、叔母の介護に関わる気持ちになりました。(白取心平)

「遠距離介護」の表紙